



三原台中だより

令和7年9月3日発行
練馬区立三原台中学校
校長 山崎 二郎



「2学期が始まりました」

校長 山崎 二郎

今年の夏も、最高気温が35度以上となる猛暑日の多さが連日のように報道され、うだるような暑さに気持ちが折れそうな日々であったのではないのでしょうか。この夏は暑さだけでなく、多くの地域でゲリラ雷雨や線状降水帯による集中豪雨、台風、津波など様々な自然災害に関するニュースも多く耳にしました。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。9月もしばらく厳しい残暑が続くようです。また、現在、急性呼吸器感染症や新型コロナウイルス感染症なども多く発生しているようです。こまめな水分補給、涼しいところでの休憩などの熱中症対策や、マスクの着用を含めた咳エチケット、手洗いなどの感染対策を心がけ、体調管理に十分お気を付けください。

さて、44日間の長い夏休みが終わり、静まりかえていた学校に子供たちの元気な声に戻ってきました。久しぶりの子供たちとの再会はとても嬉しいものです。夏休み期間中に大きな事故やケガの報告もなく、無事に2学期のスタートを切ることができましたのも保護者や地域の皆様が温かく見守ってくださったお陰です。心より感謝申し上げます。

ところで、夏休み中、ご家庭での子供たちの生活はいかがだったでしょうか。生活のリズムを崩すことなく規則正しく生活をしていた人、計画通りに宿題や家の手伝いなどを行った人ばかりだと良いのですが、中にはSNSや動画視聴、ゲームなどに夢中で、注意をしてもなかなか止めずに苦慮したご家庭もあったかもしれません。子供ですから大人に注意されないといけない時もあり仕方がないことですが、子供がどのような気持ちで受け止めていたかが問題です。私も子供の頃、「もう少ししたらやろうと思ったのに、先に注意されるとやる気がなくなる」とよく思ったものです。



子供が注意されたときの受け止め方には、①「めんどくさい、うるさい」と受け止めて嫌々させられる人、②「仕方ない、やろうかな」と受け止めてきちんとやる人、③「自分のためだ、頑張ろう」と受け止めて自分から進んでやる人の3種類あるようです。これらの受け止め方では、それぞれ気持ちが違うわけですから、力の伸び方に差が出てくるのは当然です。一番伸びるのは言うまでもなく、自分から進んでやる人です。このような人は見ているだけでも気持ちがいいし、とても素敵に見えます。

2学期も、授業や合唱コンクール、修学旅行、職場体験学習などの様々な行事、学年・学級での活動の中で、生徒たちが主体的に取り組む機会を増やし、前向きな気持ちで頑張る力を育てていきます。そして、少しでも多くの場面で生徒たちがいきいきと活躍できるよう教育活動を進めてまいります。保護者・地域の皆様におかれましては、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

Congratulation!!

※敬称は省略させていただきます

☆陸上競技部



- ・第76回東京都中学校地域別陸上競技大会
【男子西部共通400M】 第8位 55秒98（3年）
- ・第37回東京ジュニア陸上競技大会
【男子2年1500M】 第7位 4分30秒22

☆吹奏楽部



- ・第65回東京都中学生吹奏楽コンクール
【B組】金賞

☆文芸部



- ・第6回YAポップコンテスト
【最優秀賞】（3年）
【特別賞】（1年）

☆生徒会・地域活動

【募金活動】

ユニセフより『感謝状』をいただきました。



【泉新盆踊り大会ボランティア活動】

練馬区青少年育成委石神井地区委員会より『感謝状』をいただきました。



☆日本漢字能力検定協会より『特別賞』をいただきました。

